

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス 暖母 小笹		R7 年 3 月 25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	その時に合った環境の整備を行っている。	しっかりとした個室がない（半個室はある。）為小集団でのレクリエーションに限界がある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		急遽送迎等で対応している時に足りない時がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	ブレイルーム・休憩室・学習室の区間を行っている。	車椅子の子や医ケア児も一緒に活動している為安心して落ち着いて活動出来る場所がない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	その時に合った環境の整備を行っている。	環境整備は行っているもののスペース不足である。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		個別の場所を使用することは可能だが、もう少し数が欲しい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		毎朝のミーティングにて職員間で話し合っています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			毎年HPIにて記載していますが、その報告が出来ていなかった為お便りに記載していく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎朝ミーティングを行い、支援を共有しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・虐待、身体拘束の研修を毎月行っている。 ・療育については外部の研修に参加している。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		事業所のホームページにて記載しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		事前モニタリング書を保護者に記載して頂き定期的にニーズをお伺いしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		各担当者を配置し、計画作成時に管理者と一緒にモニタリングを行い作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		個別記録に記載を行い、日々その計画に沿った支援を職員全体で行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		アセスメントしたいことがあれば職員間で話し合いをしたり、保護者に送迎時にお伺いし、アセスメントを行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		その子その子に必要な内容を個別支援計画に記載させて頂いています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		月末・月初めに職員全体で活動プログラムを話し合っていて決めています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		当日のリーダーが利用児に合わせて内容を決めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		専門的な分野等は特に個別・集団で専門師がその時の利用児に合わせて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎朝のミーティングにて職員間で話し合っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	朝必ず前日の振り返り・反省を行い、ミーティングノートにて全体に共有しています。	帰りの送迎等で就業時間ギリギリな時があり、現状では出来ていません。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日晒迎後に個別記録を記載し、翌朝その内容を検証・改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		基本的には半年に1回保護者の方と一緒にモニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		基本的にレクリエーションは自己選択活動を行っており、自己決定を促している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		基本的に管理者・担当者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		保護者の方を交えて学校との情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	可能な限り就業前の園に見学に行かせて頂き情報共有をさせて頂いています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4	現在対象児はいないが提供する準備や研修等を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	1	小笹バザー等活動で行い、地域の方と交流できる場所を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	10		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		常に保護者の方と連絡が取れるよう全携帯と保護者のLINE（グループLINE）を作成しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	就労について等保護者に提供できる情報があればすぐに情報を共有しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時にお時間を頂き必ずご説明させて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		基本的に保護者の方と対面にて内容をご説明していますが、どうしても会えない保護者には電話にて内容をご説明しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		毎年1回保護者会と懇親会を開催。 毎年2回親子レクを開催。 夏には小笹バザーを行い、保護者を事業所に招待している。	参加人数が少ない為、日程を2か月前まで等早めに保護者に知らせる等改善していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		インスタグラムの活用。 毎月暖母だよりの発行。年4回保健だよりの発行	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		毎年夏に小笹バザーを開催。事業所に地域の方を招待しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		BCP委員会・感染症委員会を筆頭に行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		防災訓練を最低でも年2回行っています。 年1回は防災センターで体験を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		フェイスシート・アセスメントシートで情報収集や面談時に状況を把握しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時にアレルギーの有無を確認し、アレルギーがある場合は医師の指示書の提示を保護者にお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		その日に書面に残し、全体に共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		毎月の研修と研修報告書を記載。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				